

紫陽花のラブソディー

好きだよって言えない あじさいの頃
胸に秘めた蕾は 少し膨む
なんとなく君と過ごして 季節を巡って 愛しさが芽生えた

水玉に浮かべる あじさいの花
頬にふわり触れるような 夏を呼ぶ風
このまま時が過ぎたら 穏やかでしょう
何も知らない君はいつか 誰かと結ばれるから

雨に溶けて消えたいと嘆くこと あとどれくらい続くの
君に僕は見えていない 淡い恋さえ出来ないくらい

じゃれあって目が合う瞬間 ひとつになりたい
でも壊したくはない 君を見ていたいから

雨に溶けて消えたいと嘆くこと あとどれくらい続くの
君に僕は見えていない 淡い恋さえ出来ないくらい
今日も隣で笑ってるよ

好きだよって言えない 紫陽花の頃
胸に秘めた蕾は まだ閉じたまま